

第101回 CPD セミナー・公開講座・防災セミナー(徳島)

四国本部 事業委員

大村 史朗

OOMURA Shirou

四国建設コンサルタント(株)



1. セミナーの概要

2025年5月17日(土)、徳島市阿波観光ホテルにおいて、第101回CPDセミナー・公開講座・防災セミナーを開催しました。あわせて合格者祝賀会も開催しました。

セミナー参加人数は51名(うちWeb参加4名)、また合格者祝賀会参加人数は46名、うち新規合格者は3名でした。

表1 プログラム

1. 開会 (13:00~13:25)

(1) 開会挨拶

(公社) 日本技術士会四国本部

本部長 天羽 誠二

(2) 四国本部及び青年技術士委員会の紹介

(公社) 日本技術士会四国本部

広報委員 菊池 昭宏

2. CPD セミナー (13:35~14:35)

演 題:『風が起こす問題の工学的な取扱いについて』

講 師: 徳島大学大学院 社会産業理工学研究部理工学域 社会基盤デザイン系 構造・材料分野 教授 野田 稔氏

3. 公開講座 (14:45~15:45)

演 題:『2025 年大阪・関西万博 徳島県取組紹介』

講 師: 徳島県観光スポーツ文化万博推進課 課長 渡部 芳枝氏

4. 防災セミナー (15:55~16:55)

演 題:『徳島ママ防災士の会 Switch とママ防災士の活動について』

講 師: 徳島ママ防災士の会 Switch 代表 瀬戸 恵深氏

5. 合格者祝賀会 (17:55~19:55)

- | | | |
|----------|----------|-------|
| (1) 開会挨拶 | 四国本部会計幹事 | 菊池 昭宏 |
| (2) 乾 杯 | 四国本部副本部長 | 富士 達雄 |
| (3) 中締め | 四国本部会計幹事 | 友安 啓介 |

2. 開会挨拶 天羽本部長

四国本部天羽本部長の開会挨拶で始まりました。



写真1 天羽本部長の開会挨拶

3. CPD セミナー 野田 稔氏

CPDセミナーでは、徳島大学大学院 社会産業理工学研究部理工学域 社会基盤デザイン系 構造・材料分野 教授の野田 稔氏より、『風が起こす問題の工学的な取扱いについて』と題し、ご講演いただきました。

ご講演では、まず「風が起こす問題」として、①台風や竜巻などの強風によって発生する災害、②風によって生じる構造物の振動があることを示されたうえで、①については過大な風荷重による構造物の損壊、飛散物の衝突による構造物の損壊、強風による車両の横転や歩行者の点等があること、また②については、静的現象として風圧力による破壊や不安定現象、また動的現象として渦励振やバフティングなどの限定振動、フラッターやギャロッピングなどの発散振動があることを解説いただきました。

そして、2012年5月6日に茨城県つくば市北条で発生した竜巻被害の例(上部構造が吹き飛ばされた住宅など)、また徳島県南部にも上陸した2018年台風21号による建物の被害の例(木

造家屋の倒壊、体育館屋根の破損など)、また建物以外の被害の例(電柱の破損、太陽光や風力発電設備の破損など)を紹介し、風が起す被害がときに甚大となることをお話いただきました。台風21号の被害調査にあたってはセスナ機をチャーターし、左右の窓に4Kカメラを設置のうえ高度600mを時速180kmで飛行し、ブルーシートをマーカーとして屋根被災建物を抽出されたとのことで、風が起す被害が広域に及ぶことを改めて認識しました。

その後は、風荷重の成り立ち、風速を決める要素など風の工学的性質について概説されたうえで、1800年代後半に発生したイギリスのテイ橋の崩壊事例、対策方法などから、近年の施工である明石海峡大橋や末広大橋、小鳴門橋、大鳴門橋の対策方法まで、空力安定化対策の進化を幅広く紹介され、まとめとされました。



写真2 野田氏のご講演

4. 公開講座 渡部 芳枝氏

公開講座では、徳島県観光スポーツ文化部万博推進課 課長の渡部 芳枝氏より、『2025 年大阪・関西万博 徳島県取組紹介』と題し、ご講演いただきました。

ご講演では、まず初めに国際博覧会(万博)の定義が「博覧会とは、名称のいかんを問わず、公衆の教育を主たる目的とする催しであって、文明の必要とするものに応ずるために人類が利用することのできる手段又は人類の活動の一若しくは二以上の部門において達成された進歩若しくはそれらの部門における将来の展望を示すものをいう。」(国際博覧会条約より)であることを示されたう

で、そのテーマは、20世紀までは「国威発揚」が中心であったものが、21世紀からは「地球的課題と人類社会の持続的な発展」にうつりつとあるとお話いただきました。その変化の先鞭をつけたのは、2005年に名古屋で開催された「愛・地球博」であったとのこと。また万博では最先端の技術とアイデアが披露されますが、例えば1970年の大阪万博ではファーストフード(フライドチキン日本初上陸)、電気自動車、動く歩道、ワイヤレステレホンが生まれたとのことで、身近に存在するものが過去の万博をきっかけとして広がったことを知り、その意義の一端を感じることができました。

その後は、2025年大阪・関西万博のテーマ、コンセプト、各パビリオンの概要、見どころを説明されたうえで、大阪・関西万博における徳島県の取組を紹介いただきました。関西パビリオンの「徳島県ゾーン」においては、「水とおどる」のテーマのもと、伝統工芸の展示やプロジェクトマップによる観光資源紹介などが常設展示されているとのこと。その他も期間中には、阿波踊りや、食や藍などをテーマとした企画展、「徳島のなつやすみ」やSDGsなどをテーマとした各種催事を開催する予定とのこと。

大阪・関西万博のエネルギーを徳島創生の起爆剤とするための多様な取組について、大きな期待をもって拝聴させていただきました。



写真3 渡部氏のご講演

5. 防災セミナー 瀬戸 恵深氏

防災セミナーでは、徳島ママ防災士の会 Switch 代表 瀬戸 恵深氏より、『徳島ママ防災士

の会 Switch とママ防災士の活動について』と題し、ご講演いただきました。

ご講演では、まず初めに、職場であるラジオ局で必要性を感じ開始した防災士資格取得の勉強を通じ、子育て世帯における防災教育の必要性・重要性を感じたこと、それにも関わらず子育て世帯は子育てや仕事が最優先になりがちで防災・減災に取り組む余裕がない、防災・減災に関する講師や情報発信する側に現役の母親、父親が極めて少ないなど、様々な課題があることに気づいたご経験を示され、その気づきをもとに、自分にできる解決策として「防災士(知識)×母親(立場・経験)=ママ防災士」の考えのもと、ママ防災士という新しい役割の創出に至ったことをお話いただきました。

その後は、徳島市の防災講座会場内へのキッズスペース導入、防災会県支部の総会、役員会への子ども同席、妊産婦向け・乳幼児を子育て中の方向けの防災・減災リーフレット作成、徳島市の指定避難所における妊産婦向け・乳幼児向けの公的備えの拡充、徳島のママ・パパのための防災・減災手帖作成など、まさに母親の立場・経験のもと、次々と課題を抽出し、防災士の知識を活かして解決策を実現してこられた会の活動内容をご紹介いただきました。

これらのお話からは「高度な知識と応用力」が認められた技術者である技術士との共通点も多く感じ、その能力を持つ技術士が多様な立場で活動することで、より社会に貢献できるのではと感じました。



写真4 瀬戸氏のご講演

6. 合格者祝賀会

セミナーの後、合格者祝賀会が開催されました。

四国本部の菊池会計幹事の開会挨拶、富士副本部長の乾杯の音頭により祝賀会が始まりました。2時間余りの歓談の後、四国本部 友安会計幹事の中締めにより、祝賀会も無事終了することができました。



写真5 富士副本部長の乾杯



写真6 合格者のご挨拶

7. おわりに

セミナー参加者は、計51名のうち会員が36名、非会員が15名でした。今回もWeb配信を行っており、遠くは東北本部から、計4名の方々にご参加いただけたことはうれしい限りです。

今後は、(一社)建設コンサルタンツ協会、(一社)徳島県測量設計業協会等への後援依頼や技術士会独自の広報活動を展開するとともに、セミナー内容の充実により、出席者の確保に努めて参ります。